

|               |                  |     |       |
|---------------|------------------|-----|-------|
| 研 究 分 野       | 漁場環境             | 部 名 | 浅海環境部 |
| 研 究 課 題 名     | 漁業者参加型漁場監視体制整備事業 |     |       |
| 予 算 区 分       | 水産業企画調査費         |     |       |
| 試験研究実施年度・研究期間 | H13～H29          |     |       |
| 担 当           | 兜森 良則            |     |       |
| 協 力 ・ 分 担 関 係 | 青森普及所、むつ水産事務所    |     |       |

### 〈目的〉

漁業者自らが積極的に監視活動を行うことにより、漁場保全及び監視に対する意識の向上を図る。

### 〈試験研究方法〉

調査方法：漁業者がエクマンバージ採泥器で採取した底泥を分析した。

調査地点：脇野沢、むつ、野辺地、青森

分析項目：化学的酸素要求量(COD)

全硫化物(TS)

強熱減量(IL)

含泥率(MC)

### 〈結果の概要・要約〉

水産用水基準(2005年版)の内湾の基準値は、COD $\leq$ 20mg/g乾泥、TS $\leq$ 0.2 mg/g乾泥となっている。

CODが基準値内であったのは野辺地だけで、TSが基準値内であったのは野辺地、むつ、脇野沢であった。

各地点の分析項目の推移をみれば、平成21年度の分析値が大きく増加しているものはなく、環境は保全されているものと考えられた。

### 〈主要成果の具体的なデータ〉

表 1 底質分析結果

| 調査地点 | 採取月日     | 水深<br>(m) | COD<br>(mg/g乾泥) | TS<br>(mg/g乾泥) | IL<br>(%) | MC<br>(%) |
|------|----------|-----------|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| 青 森  | H20.9.17 | 28.4      | 27.2            | 0.20           | 2.7       | 26.3      |
| 野辺地  | H20.9.10 | 30.0      | 15.4            | 0.01           | 2.1       | 9.7       |
| む つ  | H20.8.28 | 18.9      | 33.2            | 0.01           | 10.1      | 73.5      |
| 脇野沢  | H20.9.18 | 41.0      | 21.9            | 0.08           | 6.7       | 42.3      |

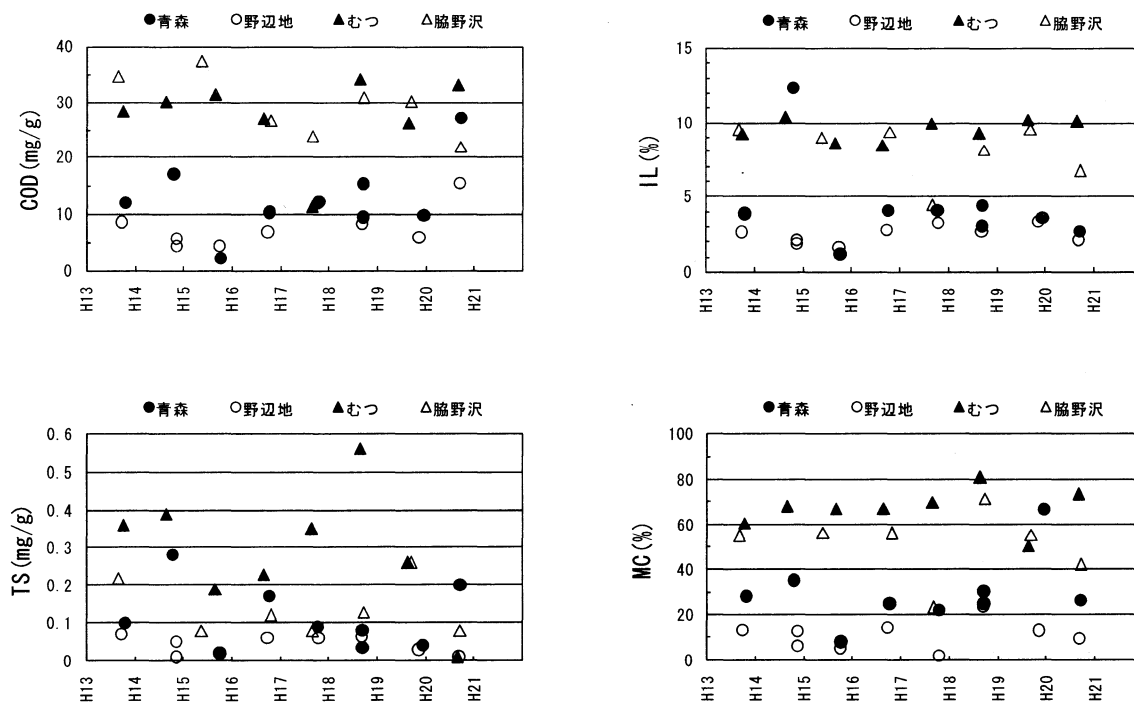


図1 分析結果の推移

#### 〈今後の問題点〉

なし

#### 〈次年度の具体的計画〉

4項目について引き続き分析する。

#### 〈結果の発表・活用状況等〉

平成20年度漁業公害調査指導事業検討会で報告した。